

# 18歳成人 vol.3

## オンラインフェア

本年度は  
会場と  
オンライン  
で開催!

今回  
初!

会場開催・期日

定員：200名

# 3月16日



会場 イノホール&カンファレンスセンター

東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング 4F

● 東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C4出口直結

オンライン開催・期日

定員：2,000名

# 3月29日~31日

\*会場実施したものをそのまま配信。会場参加された方もオンライン視聴できます。

## 2025年3月、初の会場開催を実施!

後日その模様をオンライン参加者に配信いたします。ぜひ、会場までお越しください!

どちらも  
参加  
無料



令和4年(2022年)4月から、成年年齢が18歳に引き下げられたことを受け、日本教育新聞社では、学校現場やこれから大人になる生徒たちに有益な情報を届け続けることを目的に、2025年3月に「みんなで学ぶ18歳成人」を開催いたします。

著名な講師陣とともに豊富なプログラムを展開! 社会で自立して生きていくために必要な力について、この春一緒に学びませんか? ご参加を心よりお待ちしております!

テーマ

# みんなで学ぶ18歳成人

## 社会で自立して生きていくために必要な力とは?

SNS  
選挙

校則  
闇バイト

契約

消費者  
教育

自治体・企業の  
授業展開

取り組み

プログラム (予定)

▶最新の情報はWEBで!

- 13:00 主催者挨拶
- 13:05 ① 基調講演 / 神内 聡氏  
「スクールロイヤーと高校教師の視点から考える18歳成人の時代」
- 13:35 ② 自治体講演 / 東京都教育委員会  
「東京都のキャリア教育の取組について」
- 13:50 企業講演 ① / 日本FP協会  
「FPが教える お金との上手な付き合い方」
- 14:05 企業講演 ②
- 14:20 ③ 講演 [非行防止・闇バイト] / 前澤 綾子氏<警察庁>  
「少年を犯罪の加担者、被害者にさせないために」
- 14:30 休憩
- 14:40 ④ 講演 [契約] / 菊間 千乃氏  
「契約のキホン」
- 15:10 ⑤ 講演 [消費者教育・授業] / 柿野 成美氏  
「自立した消費者に必要な力と学校での取り組みについて」
- 15:40 休憩
- 15:50 パネルディスカッション / コーディネーター: 菊間氏  
神内聡氏、菊間千乃氏、柿野成美氏によるディスカッション等  
「18歳成人 学校・社会・企業の役割、成年年齢引き下げに伴う消費者・法律問題について等(仮)」
- 16:30 終了 (アンケート記入)



神内 聡

(じんない あきら)

弁護士  
兵庫教育大学 教授  
私立中高一貫校社会科教諭

【参加者へのメッセージ】18歳になると、高校生も有権者になり、成人者になります。教師と法的な立場は何も変わりません。でも、高校で働いていると様々な高校生に出会います。法律が目指す理想と学校現場の現実

がかみ合っていないこともあります。そのような中でも、高校生は日々、確実に成長していきます。一方で、「日本の学校は子どもの権利を保障していない」「政治教育も消費者教育も遅れている」と批判されることもあります。本当にそうでしょうか。スクールロイヤーと呼ばれる弁護士はたくさんいますが、実際に学校で働いて子どもたちと直接関わっている弁護士はほとんどいません。この企画では教師として日常的に高校生と関わっているスクールロイヤーの立場から、今の学校現場の実情をお話できたらと思います。



菊間 千乃

(きくま ゆきの)

弁護士

【参加者へのメッセージ】成人になるということは、契約主体になるということです。契約とは何か、何に気を付けたいのか、トラブルがあったらどう対処したらよいのか。契約のキホンについて、学びましょう。



柿野 成美

(かきの しげみ)

法政大学大学院  
政策創造研究科 准教授  
公益財団法人  
消費者教育支援センター 理事  
首席主任研究員

立した消費者」としての能力を身に付けることが求められています。「自立した消費者」とは、被害に遭わないように批判的思考力(クリティカルシンキング)をもって意思決定ができることに加え、公正で持続可能な社会の創り手として、積極的に社会参画できる力を備えている人のことです。本セミナーでは、このような力を育む学校での実践事例についてお話ししたいと思います。

【参加者へのメッセージ】改正民法がスタートし、高校3年生まで「自

東京都教育委員会

【参加者へのメッセージ】

高等学校段階は、大人の社会を展望し社会でどのように生きるかという課題に出会い、進学や就職といったそれぞれの人生の岐路に立って将来を描いていく時期と言えます。このような段階にある生徒が自己理解を深めるとともに、自己と社会との関わりについて深く考え、自ら進路を選択して、自己実現ができるよう指導・支援を行うことが必要です。東京都教育委員会が都立高等学校等を対象として実施するキャリア教育の取組についてお話しします。



前澤 綾子

(まえざわ あやこ)

警察庁生活安全局人身安全・少年課 少年保護対策室長兼 児童性被害対策官

に加担してしまうことが大きな社会問題になっています。また、生活の一部といえるスマートフォンも、使い方次第でSNSを通じて面識のない人間と知り合い性犯罪等の被害にあう、同年代同士・知り合

【参加者へのメッセージ】

最近、10代~20代の若者がいわゆる「闇バイト」に安易に応募し、特殊詐欺や強盗等の重大な犯罪に

い同士でもネットいじめや性的な写真を撮影・拡散してトラブルになる、違法薬物の売買に関わってしまうなどの事案に巻き込まれます。私たち警察は、未来ある若者を犯罪の被害者にも加害者にもさせないことが大切だと考えています。そのため、少年の健全育成に携わる全ての方々に問題の実態や危険性を把握いただき、具体的に若者に伝え、必要ときには相談に乗り支援ができる社会を皆で作っていくことを目指します。

主催：日本教育新聞社 協賛：日本FP協会 他

後援：文部科学省、法務省、警察庁、消費者庁、金融庁、こども家庭庁、東京都教育委員会、全国都道府県教育委員会連合会、全国高等学校長協会、日本私立中学高等学校連合会、日本私立大学協会、日本PTA全国協議会、全国高等学校PTA連合会(順不同)

参加申込

お申込みはこちらから

<https://www.kyoiku-press.com/18onlinefair/>



問い合わせ先

日本教育新聞社

みんなで学ぶ18歳成人事務局

〒108-8638 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル2F メールアドレス: plan@kyoiku-press.co.jp